



〈本郷キャンパス〉  
学校法人文京学院  
文京学院大学外国語学部・経営学部・  
人間学部・保健医療技術学部/大学院  
/文京学院大学生涯学習センター  
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1  
☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816  
文京学院大学文京幼稚園  
〒113-0023 東京都文京区向丘2-4-1  
☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉  
文京学院大学人間学部・保健医療技術学部  
/大学院/文京学院大学ふじみ野幼稚園  
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196  
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806

〈駒込キャンパス〉  
文京学院大学女子高等学校  
文京学院大学女子中学校  
〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3  
☎03-3946-5301

### THE NEW YEAR GREETINGS

## 新年のごあいさつ



学長  
櫻井 隆



学院長・  
理事長  
島田昌和



名誉学院長  
島田 煉子

### 更なる交流の 拡大を目指して

新しい年、2023年 明けましておめでとうございます。今、大学教育では新しい文理横断の「総合知」の習得が求められています。総合知とは、人文・社会・自然の各科学分野のみならず地域社会や行政など幅広い領域の知見を統合した「知」の融合をいいます。これによつて現代社会の様々な課題解決に資することができ、そして最終的には一人ひとりの多様な幸せを実現していくというものです。本学は経営学部・外国語学部・人間学部・保健医療技術学部の4学部を擁しておりますが、理学部や工学部などは本学にはありません。従いまして、本学のみで文理横断の「総合知」を習得することは難しいといえます。

これまで本学では様々な機関や地域社会と積極的に交流してきました。今後は上記のような背景から本学にはない学部を持つ大学との交流を積極的に促進していきたいと考えています。昨年6月に東京電機大学と包括連携協定が締結されたのもその表れです。すでに両大学間では研究交流等が開始されていますが、今後は交流の範囲を拡大させるとともに、他の大学にも拡大ていきたいと考えています。創立者島田依史子先生は、「私の歩んだ道」の中で、「ひとり残らず、親の期待にこたえ、そして、喜んでいただけるように指導しなくてはならない」と述べられています(同109頁)。

本学はこれからも現代社会の流れを見極めながら、学生や保護者の方に喜んでいただける教育に全力で取り組んでまいります。

### 100周年 プレ・イヤーの挑戦

新年、明けましておめでとうございます。2022年は、コロナ禍に備えつつも、大学では対面による教育活動が以前同様に近い形で実施できることを嬉しく思っています。五街道ウォーク、大学祭、留学生の来日、彼らと共に実施した藤沢市でのプロジェクト、各学部での産官学連携プログラムも活発に繰り広げられました。中学・高校でも同じように、文女祭で多くの入場者をお迎えし、マレーシアや、オオバジヤパン・インターナショナルスクールとの国際連携教育なども実施されました。実際に現場に行き、多くの方とふれあうことで人は成長することを、改めて実感させられました。まだまだ油断は出来ませんが、スポーツ、文化、学術、様々な面で、人と交流することでしか体験できない新たな気づきを膨らませていきたいものです。

2023年は学院創立100周年のプレ・イヤーとなります。100周年を見据えて動き出すこと、複数年に渡るものなど様々な動きをしてまいります。同時に、少子化の進行による教育を取り巻く環境の厳しさは増す一方です。創立者の島田依史子先生は、戦前戦後を通じて、その時代には理解が得難いような、女子実業教育としての商業教育や、公衆衛生が未発達な中で女子の新たな資格としての検査技師養成への参入、短期大学での英語教育へ果敢に挑んでいました。我々は、この先の時代にきっと必要となるのであろう新たな教育領域を見いだしていかねばなりません。今はまだ早いではなく、必ず当たり前になるのを信じ、それを見いだす学院創立100周年となるべく2023年を全力で突き進んでまいります。

### 若人よ、 新しい風景を見よう

年頭に当たり、本年も皆様が健康で幸多い年でありますよう祈念申し上げます。

2022年は新型コロナウイルスの猛威がつづき、世界中が大変なところへ2月にはロシアのウクライナ侵攻が始まり戦争は長期化し、いまだ続いている状態です。この戦争がきっかけでエネルギーや食料品の値上げが世界中で始まり、失業率も上がり、経済危機が心配されています。今年の願いの第一は戦争が終わり平和になることです。人類は長いこと犠牲を払って戦争をしないための努力を積み上げてきました。今こそ戦争という愚かな行為をやめることが今年の世界の課題です。戦車上の若者、ミサイルを操作している若者、すべての人を死なせたくないからです。

スポーツでは多くの人が熱狂して楽しましたが、大谷翔平さんに代表される若い人の活躍が目立ちました。サッカーW杯では日本は歴史的勝利をおさめ、特に「勝つ組織力を生かす個の力」の活躍が素晴らしいと思います。森保一監督の談話に「自分たちの指導した選手が世界の舞台で勝っていけるんだということに自信を持って、育成の指導現場に生かしてもらえると本当に嬉しい。」とありました。

教育の現場に今求められているのはまさに個の確立、個の成長であり、同時に組織力も必要です。学院の各校はこうした自覚をもとに新しい生き方、学び方を計画し実行いたしております。今年も学生、生徒、園児の一人一人に寄り添って成長を助ける教育を開いてまいります。

# 新年のごあいさつ



中学校  
高等学校 校長  
清水直樹

BUNKYO 100  
～100年のその先へ～

年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

さて、本校が掲げる教育ビジョン「BUNKYO 100～創立100年に向かって、その先の100年をめざして～」には、「生徒たちが21世紀を生きていくために必要な力を身につけることのできる学校でありたい」という私たちの思いが込められています。創立95周年に当たる2019年に策定したこのビジョンの下で、この3年間、教育活動に取り組んでまいりました。2024年の創立100周年に向けて、本年は折り返し点を越えて、ここまで取り組みを検証する年となります。

「自立した学習者の育成－探究活動の深化とICTを活用した新たな学びの創造」

「世界標準の学力と人間力－英語四技能の向上と多様性を楽しむ心の育成」

特に力を入れてきた二つの目標に向けて、生徒たちは順調に力をつけて成長しているのか。現在地を確かめ、何が必要なのかを見極める。2024年の創立100周年、そしてさらにその先の100年へつながる教育をめざして、教職員一同、今後も一層の研鑽を積み、日々取り組んでまいります。

本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。



## 「文京幼稚園ならでは」の魅力を大切に

文京幼稚園 園長 益田 薫子

新春のお慶びを申し上げます。

コロナ禍が続き、社会情勢が刻々と移り変わると、幼児教育も状況が大きく変化しています。「文京幼稚園の魅力」を再認識し、幼稚園の良さを外部へ積極的に発信する重要性を感じています。

『土の園庭は宝箱』…体を動かして遊ぶ、土や砂・水と存分に触れ合う、野菜栽培等、豊かな環境の中で、色々なことに興味を持ち自ら関わることを大切にしています。

『クラスは子ども達が安定して過ごせるホーム』…教諭は子どもの好奇心や探求心が満たされる

よう保育室内の環境作りを工夫しています。

『愛情が豊かで勤勉な教諭陣』…子どもが安心感を持ち楽しく園生活を送れるための工夫を続けています。また、互いに“思い合う気持ち”が育つよう、温かく前向きな言葉をかけるよう心掛けています。

その他“正課体操・英語活動”、“園行事”など多様な体験は情操教育としてプラスに働き、感性を育てることもあります。

一人ひとりの成長を第一に考える園の良さを大切に、今年も教職員が一丸となって努力を続けてまいります。



## 子どもたちの毎日を大切にする

ふじみ野幼稚園 園長 柄田 紗

新年のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス対策による制限が段階的に緩和され、より活動的な雰囲気が広がっているように思います。こうした機運を子どもの遊びが広がるチャンスとなるように、今年も基本的な対策に努めたいと存じます。ふじみ野幼稚園は園児、保護者、教職員の皆様が集うところとして、安全と健康を大切にしたいと考えます。子ども一人ひとりのアイディアや気持ち、やってみようとする行動などが、仲間たちとの継続的な活動を通じて、新

しい展開となり、それぞれの子どもの姿として表れます。このような幼児期の育ちが、人として自立し、社会で共に生きる基盤となります。子どもたちによる毎日の園生活や遊びの連続が、年齢に応じて自分でできることを増やすだけでなく、成長に応じて様々なことに適用できる豊かな力となっていきます。今年も子どもの気持ちや成長を第一に考え、関わる皆様に応援していただきたいと存じます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

## チャレンジ

中学生徒会 会長 青木裕紀子（3年桃組）



明けましておめでとうございます。

私たち41期中学生徒会では、みんなの意見を取り入れ新しいことに挑戦することを目標とし、いまだに続くコロナ禍を、柔軟に対応しながら活動をしてきました。特に昨年の文女祭では、来校者とのコミュニケーションに重点を置いた企画に挑戦することができました。生徒みんなの声を学校生活に反映することは簡単ではありませんが、

難しいと思ったことでも諦めず、自分たちの想いを丁寧に伝えることで、良い結果に繋がるということを学ぶことができました。

41期の活動は残り僅かとなってしましましたが、任期満了まで仲間と共にチャレンジし続けたいと思います。そして、本年は新たに42期生徒会総務役員が発足します。今後も総務役員一同、精一杯努めますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 2022年を振り返る

高校生徒会 会長 酒井愛美香（2年梅組）



明けましておめでとうございます。

昨年は協力してくださった生徒の皆さん、先生方をはじめ、多くの方々に支えていただいた1年となりました。

新型コロナウイルス感染防止による社会的制限が少しずつ緩和されつつありますが、昨年はまだ多くの制限があったため、思うように活動ができませんでした。しかし、そんな中でもわたしたち生徒会に今できることは何かを考え、たくさんの話し合いを重ね、意見を共有する場を多く設けてきました。

また昨年の文女祭では、巨大ゲームセンターを立ち上げるなど、今までにはないような新たな企画にもたくさん挑戦してきました。生徒の皆さんだけでなく、お子様からお年寄りまで、幅広く楽しんでいただき、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。今年度は、文女祭で培った経験を活かし、今よりもさらに視野を広げ、より皆さんのが楽しめるような学校生活にしていきたいと思っています。

本年も生徒会一同精進してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

## 皆様の生活の支えとなれるように

本郷キャンパス学生自治会本部 会長  
佐藤颯馬（経営学部3年）



新年あけましておめでとうございます。日頃より、学生自治会をはじめとした自治活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、充分な感染対策を行なながら、多くのイベントを対面で実施することができました。本年も安全に、皆様に楽しんでいただけるようなイベント

や、ご協力くださっている皆様に対して還元できるような活動の企画運営を心掛け、学生の皆様の大学生活を少しでも良いモノにできるよう全力で支えてまいります。

本年も自治会員一同、精一杯頑張ってまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

## より良い学生生活の為に

ふじみ野キャンパス学生会本部 会長  
戸谷龍希（人間学部1年）



新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの影響で行われていたオンライン形式等での授業がほぼ全て対面形式の授業へと変わり、一年が過ぎました。未だに予断を許さない状況ではあるものの、一年間慣れない形態の授業や行事に柔軟に対応し、新たな年を迎えたことを喜ばしく思います。

しかし、コロナ禍の影響によるダメージは解消されたわけではありません。部活や委員会の

人員不足に加え、役員の引継ぎや行事運営の不安定さが拭いきれずにいます。学生会本部は、その状況を打破できるよう、学内を盛り上げられる行事に着手していきます。昨年はクリスマスパーティー等のコロナ禍以前のイベント実施が復活できました。

本年も皆さんのがより良い大学生活を送れるように精進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

お知らせ



大学の公式ホームページがリニューアルしました！

【URL】<https://www.bgu.ac.jp/>

